

地域の大人と語る会

12月10日(土)に本校において置賜地区「生徒と地域の大人の対話会」が開催されました。会に先立って商業研究部の「観光名所を観光萌所に～定番のその先へ～」、3年生課題研究の「SDGs高校生なせばなるチャレンジ」の研究発表を見ていただき、会場の皆さんから大きな拍手をいただきました。その発表した米商生と地域の大人によるグループ討議が行われました。討議の内容は「18歳成人がつくる明るい未来」と題して、交流1「あなたにとって『居心地のいい』場所はどこですか?」、交流2「『居心地のいい』場所を広げるためのアクションは?」で活発な話し合いが行われました。家族以外の大人と話す機会はなかなかありません。そして大人にとっても同じです。これが意外と楽しいのです。このような会は現在、さまざまな所で行われています。是非多くの米商生に参加してほしいと思います。



やばいよやばいよ もちりんごパン

年末に入って県内に米商旋風が吹き荒れています! 最近では会議にいく度に「もちりんごパン」の話題になっています。半端ない売り上げです。米沢地区は売り切れが続出して、特にテレビに映ったローソン丸の内店は毎日百個単位で売れているそうです。1種類のパンが1日で百個売り上げるというのは経験がないとのことでローソンにとっても本校にとっても嬉しい悲鳴です。特に山形以外の東北地方に住んでいる卒業生にとっては「仙台で米商のパンが…泣ける」という感じで大人気となっているのです。これが1月9日までの販売で終了するのは勿体ないくらいです。写真は山形市のローソンの特設コーナーです。赤いパッケージが、米商の赤いブレザーとクリスマスを意識させます。まだまだもちりんごパン旋風は続きます。



後期生徒総会

12月15日(木)に後期生徒総会が行われました。今年の生徒会もコロナとの戦いの中でできる限りのことをしてくれたと思います。クラスマッチ、鶴城祭はもちろん、朝の挨拶運動や新たな取り組みの学校側との懇談会なども行ってくれました。本当にお疲れ様でした。今回の生徒総会では執行部が配布されているクロムブックを机上において総会に参加している姿が目立ちました。時代は進歩しています! なんとなくカッコいいです。そして新たに決まった新生徒会役員。今までの伝統を継承しながらも自分たちらしい生徒会を作ってください! 期待しています

米商Instagram500投稿突破！とオススメのインスタ紹介

昨年の4月から平日は毎日投稿している米商Instagramが500投稿となりました。現在、フォロワー数が1,353人となっています。令和4年度の目標は1,500人ですので、あと150人です。米商インスタは保護者の方より大変に喜んでいただいております。学校としても嬉しいです。また、日本中、世界中で頑張っている卒業生も多数見てくれており、後輩の活躍を喜んでくれています。

私自身Instagramと出会って人生の幅が広がったような気がします。SNSは様々な問題も指摘されていますが、ルールをしっかりと守って取り組めば自分の人生にプラスになる情報が満載されていると思います。私の推しのInstagramを一つ紹介します。「Gutsmen_traveller」です。こちらはご夫婦で世界旅行をされている方のInstagramです。12月16日現在はモロッコにおられます。ワールドカップも現地でご覧になりました。このお二人は、思うところがあって仕事を辞めて世界旅行に行きました。私は、お二人が世界旅行に向けて準備している時からフォローをしており、行った先々での様子が投稿されると感想やDMでお話をさせていただいています。私もいつか世界一周旅行をしたいと思っているのでとても参考になるのです。そしてその思い切った生き方に刺激を受けます。いろいろな人が世の中にはいるのです。推しの紹介でした。



遠くの灯り

その方は突然米商を訪ねてこられました。山形大学工学部の名誉教授の高橋寛先生。ウクライナ問題などのお話しされご自分の著書「力学と憲法9条」を図書室に寄贈いただきました。とても難しそうな本ですが、読んでみると科学というよりも生き方について書かれているような気がしました。高橋先生が何故、突然に米商を訪問されたのか。それはウクライナ問題に代表されるように先の見えない世界ですが、少しでも先に灯りが見えると人は元気になる。その灯りの一つにご自分の著書が少しでも役に立てればということでお出でになりました。私は初対面でしたが、その穏やかな口調の中にある確固たる信念を感じました。何よりも「遠くの灯り」の話がとてもステキでした。確かにそうだよなあ〜と思いました。今は辛くても、遠い未来は明るい。だから頑張れる。とても納得したのです。言うならば春を待つ雪国の人の気持ちでしょうか。

置賜にも雪が降りました。子供の頃は大好きだった雪が年齢を重ねるほどに嫌いになります。しかし、春が待っていると思うと雪も我慢できる。雪が降ったら春が近づいていると考えましょう(笑)

米商スケッチ

- ・職員玄関前にクリスマスツリーを飾りました。電飾もピカピカ光っています。クリスマスムードが漂っています。ただし、ちょ〜っと小さいんです。いつも掃除に来る3年1組の生徒も何か言いたげでした。
- ・校長面談は1年1組も終わろうとしています。面談していると様々な人がいます。最近一番印象的だった人は、特技が歯を抜く事！自分の歯も、妹の歯も抜いているそうです。凄いですね！
- ・こんな人もいました。推しのユーチューバーのチャンネル登録をお願いされました。そして、その登録する様子を動画で撮影されました。いろんな人が米商にはいます。
- ・米商生は明るい人が多いです。その中でも特に明るい人を私は「米商の太陽」と呼んでいます。現在、私から「米商の太陽」と呼ばれている人は二人います。その人がいると周りも明るくなります。ステキな人ですね。
- ・先日、私が米商で最後の担任をしたクラスの卒業生が来校してくれました。アメリカ ロサンゼルスから。その娘はダンサーを目指してロスで踊っていました。聞けば9年ぶりに日本に帰ってきたそうです。今はダンサーではなくロスの焼き肉店の店長をしているそうです。とても生き生きしていました。自分の好きな生き方を出来るって最高に素晴らしいことですね。